

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4076200452		
法人名	社会福祉法人 全和会		
事業所名	グループホーム わかば		
所在地	福岡県飯塚市太郎丸499 - 1		
自己評価作成日	平成23年1月31日	評価結果確定日	平成23年5月21日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成23年3月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者にとっては食事が一番の楽しみであるので、量を調整品数を多くし、美味しい食事の提供に力をいれているまた、本人の食べたいおやつや飲み物も希望に応じて、食べてもらうようにしている。法人が持っているバスを利用しての、遠方へのバスバイクや1泊旅行、同じ法人の他の施設の行事への参加に力をいれている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長閑な周辺環境の中に位置するグループホーム「わかば」は、広い中庭を中心としてユニットがつながる回廊式となっており、開口部が大きくとられ、明るく、ゆとりある生活空間が広がっている。開設して7年目を迎えようとする中、市内の最高齢者である入居者の方の矍鑠としておられる姿を拝見し、また、一人での散歩を希望する方の意向に添う支援が行われる等、理念とする「いつも明るくほごらかに 自分らしさを忘れずに ゆったり過ごすわがホーム」の実践を窺い知ることができる。調理専門スタッフにより、個々の嗜好や状態に応じて、細やかな配慮がなされた食事づくりが行われており、入居者、家族の好評を得ている。理事長自ら主催し、職員も参加する「劇団わかば」が立ち上げられ、法人内行事等での披露とともに、他施設や飯塚市「福祉まつり」での公演が企画されており、今後多様な視点から、地域における福祉拠点としての役割を担っていくことが期待される事業所である。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果					
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づき、日々の支援業務を行なっています	地域密着型サービスとしての視点を含む法人理念のもとに、事業所独自の理念を掲げている。日々の支援の場面や会議の中で、立ち返る場所としての理念の共有に努めている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	隣組に加入し、地域活動に努めるとともに、地域行事への参加等、交流の輪を広げています	入居者全員で隣組に加入し、地域行事や清掃活動に参加している。また、地域の方に助言をいただきながら、入居者の方々とともに野菜作りに取り組んでいる。法人代表者や職員も参加する「劇団わかば」を立ち上げ、当ホーム内のみならず、他施設や福祉まつりでの公演を行っている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市役所介護保険課の確認をとりながら、災害時の独居高齢者の一時避難場所の提供等、地域に貢献できる機能を確立しています		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し、施設での取り組み内容、取り組み状況などを報告し、参加者の意見を取り入れている	持ち回りで家族代表が参加し、入居者や地区役員、行政担当者等のメンバー構成にて、定期開催されている。状況報告や行事に関する報告が行われ、地域との交流窓口としての機能も持っている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	担当所属部署以外への取次ぎ、仲介等をしてもらい、問題点の解決を図り、レベルアップに努めている	介護保険制度や運営に関すること、記録の取り方等について問い合わせを行い、アドバイスを受けている。運営推進会議へ飯塚市職員の参加を得ている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束及び施錠などにおいて、内部研修で理解を深め、夜間の施錠以外はオープンにするように努めている	玄関のみならず、勝手口や中庭への出入り口も、日中は施錠されていない。計画的に研修項目に組み入れ、職員間の共通認識を図っている。言葉や薬による抑制にも意識を持ちながら、夜間も無理に睡眠を誘導しない等、本人本位の支援に努めている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修等を実施し、周知徹底に努めている		

福岡県 グループホーム わかば

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	任意活用制度の活用例はあります	これまでに活用に向けた支援を行った経緯もあり、その過程において学んだことも多い。必要時には関係機関との連携を図りながら、検討を行っている。	継続して学ぶ機会を確保し、家族や地域へ情報発信が行えるよう取り組んで欲しい。
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所受付時には重要事項、契約書について、責任者より説明、家族に納得してもらった上で、サインと印鑑をもらっている		
10	(7)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族や本人に運営推進会議に出席してもらい、要望や意見を述べてもらっている。家族や本人、外部の意見を参考に運営に取り組んでいる	入居者、家族から意見や要望があった場合には、職員間で周知し、運営に反映させるように努めている。最近では、加湿器や空気清浄機の設置の要望があり、反映されている。	
11	(8)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員会議を開き、個々の意見を聞いている	毎月、スタッフ会議を開催し、活発な意見交換が行われている。また、日々の支援の場面でも意見交換を行いながら、出された意見やアイデアを検討、反映に努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務評価(査定)により、評価に応じた手当での支給に努めている		
13	(9)	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別、年齢を問わず、福祉に対する基本姿勢のある方を優先して採用につなげている	職員の採用にあたっては、人柄や支援に対する姿勢を重視しており、年齢や性別による排除は行わないようにしている。無資格者であっても、資格取得をサポートし、研修参加への勤務調整にも柔軟に対応している。これまでの職歴や得意分野を活かして、能力を発揮する場面がある。	内部研修については年間計画が組まれているが、内容については資料配布が中心となっている。職員の主体的な関わりも含め、より効果的な研修の機会を確保して欲しい。
14	(10)	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	倫理、法令等の内部研修により、周知徹底を図っている	高齢者虐待防止、認知症ケア、倫理・法令遵守等の研修を通じて、職員に対する人権教育を行っている。	

福岡県 グループホーム わかば

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数や意欲能力に応じて、外部研修をすすめると共に職員の質の向上をめざし、内部研修を実施している		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の同種事業所、異種事業所間の交流を相互にする場がある		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時に本人の置かれた環境、残存能力、困っていることを聞き取り、必要な支援を図る		
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始時に本人の置かれた環境、残存能力、困っていることを聞き取り、必要な支援を図る		
19		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを行なった段階で、他のサービス利用が必要だと思われたら、紹介するようにしている		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として、長年培ってきたものを教わりながら、本人と時間を共有するという姿勢で取り組んでいます		
21		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡を取り合い、家族にできることはなるべくしていただき、本人と家族との絆がそこなわれることのないように努めている		
22	(11)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人がいつでも、立ち寄れる施設環境は整っている	家族との関係性を大切にしており、自宅を訪ねたり、携帯電話の所持、使用を支援している。家族の来訪の機会も多い。	

福岡県 グループホーム わかば

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自立度の低い利用者には周りの利用者が手を差し伸べて相互間で助け合っている姿が見受けられる		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用契約終了後も家族から、近況報告、経過報告等を受けている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント聞き取り調査時に、生活歴、生活パターンなどを聞き、施設で対応可能な範囲において支援しています	本人、家族との関わりを通じて、入居者のこれまでの暮らしや現在の意向の把握に努めており、可能な限り、思い思いの暮らしを営んでいけるよう支援している。	
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント聞き取り調査時に、生活歴、生活パターンなどを聞き、入所前のサービスの利用状況も尋ねている		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入所初期段階での見守り、観察により、身体状況、残存能力の把握に努めている		
28	(13)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス計画作成前に担当者会議を開催し、家族や本人の意見、スタッフの意見を聞き、介護サービス計画を作成している	本人、家族の参加する担当者会議を開催し、介護計画を作成している。担当者の変更も重なっており、現在実践されている個別性ある支援を計画にも示していくことにより、関係者間での共有が図りやすく、また、より効果的なモニタリングへと導いて欲しい。	
29		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の実態を個々の介護記録に記入している。又状態の悪い入居者には病状記録を記入している		

福岡県 グループホーム わかば

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同法人内合同のカラオケ大会への参加や、見物を支援、又他のグループホームとの合同旅行を計画し実行している		
31		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源、社会資源を有効に活用している		
32	(14)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の支援のもと、通院や往診等、利用者の状況に応じた、適切な医療が受けられるよう支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医を尊重し、協力医との連携も図りながら、適切な医療活用となるよう支援している。	
33		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	嘱託医院の看護師と連携しながら支援している		
34		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時、主治医あるいはソーシャルワーカーと密に連絡をとり、連携を図っている		
35	(15)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家族、協力医と話し合いの場を持ちながら、十分なケアができるように努めている	これまでに看取りを支援した経緯もあり、本人、家族の意向確認や、医療関係者との話し合いを重ねながら、方針の共有に努めている。	
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル等を作り、職員会議等の研修の場で指導している		

福岡県 グループホーム わかば

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(16)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	組織図、連絡網等を作り、職員全員で共有している。災害時の対応についてマニュアルを作成している。また年2回の避難訓練を実施している	年2回、避難訓練を実施しており、運営推進会議でも議題として取り上げながら、地域との協力体制の構築に向けて取り組んでいる。隣接するタクシー会社への協力依頼も行っており、快諾を得ている。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護に関する内部研修を実施し、職員に周知徹底を図っています	個別の習慣や生活のリズム、時間の流れを大切に支援している。居室で一人で過ごしたい方や、一人で散歩したい方にも、安全面への配慮を行いながら、柔軟に対応している。入浴時や排泄ケアには特に留意し、自尊心や羞恥心への配慮を行っている。	
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が自己決定したことを支援し、尊重して、自分の希望を表しやすい状況を作るようこころがけています		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向を最優先するようこころがけている		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択や理美容のアドバイスをしている		
42	(18)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の中で個々の嗜好を聞き、食に対する楽しみを持たせている。また一緒に下ごしらえや、片付け等の手伝いもお願いしている	調理担当職員が配置され、個別の嗜好にも配慮された食事が提供されている。ゆっくりとした和やかな食事風景があり、食後は自然に後片付けに参加されるなど、個々に応じた力を発揮してもらっている。時には外食を楽しむ機会も確保している。	
43		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューで栄養バランス状態を確認し、個人記録で水分、食事の摂取量を把握している		

福岡県 グループホーム わかば

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの声かけ、誘導、介助を実施している		
45	(19)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、時間ごとに誘導し、自立に向けた支援をしている	ベテラン職員も多く、その観察力や記録をもとに、個別の排泄パターンの把握に努め、一人ひとりに応じた支援を行っている。	
46		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排便コントロールを把握し、水分や食事、運動量を配慮し、自力での排便を促すよう努力しているが、状況に応じては服薬による排便を行い、快適に体調が維持できるよう援助している		
47	(20)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週4回の入浴日を確保し、その中で個々に合ったペースで入浴支援をしている	週3、4回の入浴日の設定はあるが、大・小の浴槽を使い分けながら、希望や状況に柔軟に対応している。健康状態にも配慮しながら、できるだけ湯船に浸かれるよう職員配置にも配慮している。	
48		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠れない入居者には、話し相手になり、気持ちを落ち着かせてから休ませるようにしている。巡回ではできるだけ、音を立てないように注意している		
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者全員の服薬の薬名、効果、副作用、注意事項を把握し、管理している		
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人で新聞購読したり、居室に冷蔵庫を持ち、好きな物を保管し、食している。居室で趣味の大正琴をひいたり、読書をしている。レクリエーションの準備もすすんでしてくれる		

福岡県 グループホーム わかば

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>施設周辺の散歩や買い物の援助をしている</p> <p>初詣や、1泊旅行で、遠方への外出も支援している</p>	<p>一人での散歩を希望する方には、安全面での配慮を行いながら支援を行っている。希望に応じた周辺の散策や買い物、中庭での外気欲等、日常的に支援している。広い中庭が有効に活用されている。</p>	
52		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理能力のある方には、利用者の状況に応じ、職員の支援で金銭の管理を自分でしてもらっている</p>		
53		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>事務所の電話はいつでも使えることを利用者に日頃から伝えている。又希望されれば、携帯電話も所有していただき、自由に連絡できるようにしている</p>		
54	(22)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂や玄関ホールは快適に過ごしてもらえるよう床暖房にしている。中庭につつじやゴーヤを植え、季節感を楽しめるようにしている</p>	<p>広い中庭を中心として建物全体が回廊式となっており、玄関ホールや食堂でユニットがつながっている。各所に季節の花や観葉植物が置かれ、また中庭では調光の役割も兼ねるゴーヤ等が育てられており、日々の暮らしに潤いを与えている。木の温もりと、床暖房等の設置による快適さへの配慮がなされた、ゆとりある空間作りとなっている。</p>	
55		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者がそれぞれに自分の場所を確保し、ひとりで静かに本を読んだり、気の合う人と会話を楽しんだり、自由に過ごせるように配慮している</p>		
56	(23)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は一人ひとり、使い慣れたものや、好きなものを持ち込み、馴染んだ生活が継続できるように工夫している</p>	<p>各居室により、壁紙や床材、暖簾が異なる。仏壇や筆筒、テーブルセット、冷蔵庫などが持ち込まれており、生活感あふれる居室が多い。居室入り口にはユーティリティスペースがあり、個人として亀を飼っている方もいる。</p>	
57		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>食堂から、廊下や玄関ホールの様子をみることができ、職員がすぐにかかけつけることができる。また、廊下やホールには危険な障害物を置かないようにしている。汚したパット等の捨て場所もわかる方には教えて捨ててもらっている</p>		